

# 9月

国家試験対策ニュースレター

受験応援号

発行：日本福祉大学社会福祉学部

本号では、行政専修の先輩の合格体験記を掲載しています。また、今回の『国家試験ワンポイントアドバイス』は、林祐介先生（保健医療と福祉）、山田壮志郎先生（貧困に対する支援）、末盛慶先生（社会福祉調査の基礎）です。アドバイスをしてくださった先生方は新カリキュラムになった国家試験科目の解説をしてくださっています。参考にしながら勉強を進めましょう！（編集担当：横山由香里）

## 後期が始まりました！（教員からの激励メッセージ）

横山 由香里

気づけば9月ですね。夏休み中、国家試験の勉強は進みましたか？

大事な夏休み期間に順調に勉強を進められた人は、ぜひ、この調子で頑張ってください。コツコツ努力することが合格につながります。

一方で「実習だった」「就職活動で忙しかった」という人もいるかもしれません。夏休み中、思ったほど勉強が捗らなかった人は焦る気持ちも出てくるかと思います。でも、今からしっかり勉強をすれば自信を持てるようになるはずですよ。ただただ焦るだけでなく、今からできることを考え、戦略を立てましょう。赤マル福祉は使用していますか？模試のふりかえりはしていますか？勉強する時間を確保していますか？小さな目標をたて「頑張れた！」という経験を重ねていけるといいですね。

残りの大学生活はあと半年です。皆さんは、国家試験にチャレンジするために、講義・演習・実習と、たくさんの時間を費やしてきました。せっかくここまで頑張ったのですから、ぜひ、社会福祉士の資格を取得してください。応援しています！

## 後期（前半）の主な行事・目標

### ■赤マル福祉の目標

- ・8月末時点で、実施度 100%、習熟度 20～30%
- ・9月下旬時点で、実施度 100%、習熟度 40～50%目標

### ■模試

- ・第1回：9月22日 模擬試験
- ・第2回：10月26・27日 模擬試験（26日が精神・27日が社士）



※対策講座や模試については、社会福祉特別講座や掲示板の情報も参考にしてください。

## 私のおすすめ勉強法

行政専修卒業 小塚敬太 さん

皆さんこんにちは！過去問や模試の復習方法が分からず困っている人もいるかもしれませんが、復習の方法や勉強の進め方は皆さんそれぞれに合うやり方があるとは思いますが、私の体験談が少しでも参考になると幸いです。

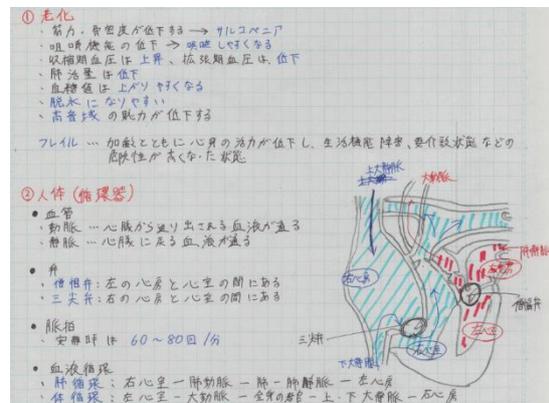
私からは「取り組んだ勉強法」と「過去問・模擬試験の復習方法」についてお伝えします。

### —取り組んだ勉強法—

勉強の軸として取り組んだのは、科目別の過去問演習とポイントノートの作成です。

過去問演習では、問題の傾向を掴むために日ごとに科目を決めて3年分～5年分の過去問を解くようにしていました。ポイントは試験センターのホームページから印刷して書き込みながら問題を解くことです。間違っている部分に線を引き、正しい単語を書き込むことで自分の理解度を把握することができます。

また、取り組んだ問題の答え合わせをする時は間違えた部分はテキストで調べてアンダーライン、テキストに載っていない細かいポイントは付箋で書き込むようにしていました。繰り返し間違える場合は、ポイントを整理してノートにまとめていました。人体の構造や制度の仕組みを理解するためには自分で図解してみるのも効果的です。効率的ではないですが、自分でまとめることで記憶に残りやすくとてもオススメの勉強法です。



そして、電車での移動時間などスキマ時間で赤マル福祉に取り組んでいました。赤マル福祉は繰り返し間違えている問題のみを出題する機能があり、苦手な制度や分野が分かりやすいため短時間で効果的な勉強をすることができます。友達と定期的に習熟度を共有することもモチベーションにつながります。各々の得意分野を共有してお互いに苦手分野を教えあうことも勉強法の一つとして取り組んでいました。

### —過去問・模擬試験の復習方法—

次に過去問や模擬試験の復習を私がどのように行っていたのかをお伝えします。特に模擬試験では、細かい内容や制度の仕組みを問われることが多く復習の仕方でも悩む人も多いと思います。私は得意分野と苦手分野で復習方法を分けていました。まず、得意分野では

細かい内容についても整理して、ポイントノートやテキストに補足として書いていました。得意分野ではミスをしないために制度を体系的に流れで理解することが大切なため、自分で説明できるまで図解してまとめることを意識していました。

苦手分野で間違えた問題については、模試の直後に解説をテキストやポイントノートに整理したうえで期間を空けて解きなおすことをしていました。定期的に解きなおし、問題の誤っている部分を修正することで理解度が高まります。

過去問や模擬試験の解きなおしでは、単に繰り返し解くのではなく、5つの選択肢各々の内容を理解することが大切です。テキストや解説集を活用して間違っている選択肢の文章をどう直せば正解になるのかを理解することが重要です。

最後に、勉強をする中で私が大切だと思うのは「適度に休み、継続的に取り組むこと」だと思います。国家試験の勉強、就活、卒論などで忙しく、大変な時期だと思います。しかし、何もやらないのと、過去問を毎日10問だけ解くのでは結果に大きく差が出てくると思います。勉強する時間がない、気分が乗らないときは少しで良いので赤マル福祉で問題を解くことをオススメします！

そして、国家試験に向けて追い込むことも大切ですが、時には友達と遊び、話をして息抜きをしてください！まだまだ間に合います！周りの仲間と支えあいながら最後まで頑張ってください！応援しています！

## 科目別ワンポイントアドバイス

### — 保健医療と福祉 —



林 祐介先生

#### 1. 第36回試験からみえる出題傾向

第36回社会福祉士国家試験の「保健医療サービス」科目では、以下の問題が出題されました（第37回からは「保健医療と福祉」に科目名が変更されています）。公的医療保険についての問題：1問（問題70）、国民医療費についての問題：1問（問題71）、診療報酬制度についての問題：1問（問題72）、医療計画についての問題：1問（問題73）、訪問看護についての問題：1問（問題74）、事例問題：2問（問題75・76）。

最初の公的医療保険に関する問題は毎年必ずといっていいほど出題されています。医療保険の種類や対象者、年齢・所得状況による一部負担金割合の違いについて、しっかり押さえておく必要があります。ただし、問題70の正答である「2 被用者保険に加入中の生活保護の被保護者は、一部負担金のみが医療扶助の対象となる」については、医療現場では被用者保険に加入していない被保護者の対応をすることが多いため、少々マニアックな印象を受けました。

国民医療費に関する問題は、「国民医療費の概況」（厚生労働省）に基づいて出題される傾向があります。第31回社会福祉士国家試験までは、こうした問題が必ず1問出題されていたのですが、第32・33回は出題されていませんでした。しかし、第34回より復活しており、第35・36回でも出題されていることから、第37回でも出題される可能性は高いといえます。「令和3（2021）年度国民医療費の概況」は、厚生労働省ホームページに掲載されていますが、「結果の概要」だけでも一通り目を通しておくことをお勧めします。

診療報酬制度に関する問題は、第32～34回で出題されていなかったのですが、第35回で復活し、第36回でも出題されました。診療報酬制度は、医療機関の経営に直結するものであり、第37回以降でも引き続き出題される可能性は高いといえます。介護報酬制度との違いが出題されることも考えられますので、その辺りも含めて勉強されるとよいのではないかと思います。

医療提供体制に関する問題も、毎年必ず出題されています。医療計画の策定主体や策定目的、病院と診療所の違いはいうまでもなく、地域医療支援病院や特定機能病院に関する問題もよく出題されますので、臨床研究中核病院も含めて、医療機能や主な承認要件について、学習を深めておいていただければと思います。加えて、これまで行われた医療法改正の大まかな内容や地域医療構想の概要や考え方も、しっかり理解しておくことが求められているといえます。

それと、保健医療領域における各専門職の役割や提供サービスについての問題が、ほぼ毎年出題されています。第36回では訪問看護についての問題が出題されましたが、これまでの傾向をみると、医師、看護師、理学療法士等のリハビリテーション専門職の業務内容を問う問題が多く出題されていると思われますので、これらの専門職の役割や提供サービスの内容を中心にチェックしておくことをお勧めします。

## 2. 勉強方法の助言

「保健医療と福祉」科目では、多岐にわたる知識が求められることから、全般的に難しいといった声を耳にすることがあります。ただし、皆さまもすでにご存知だと思いますが、この間重箱の隅をつくような問題は減少してきており、正答と誤答の見極めがしやすくなっているように思います。勉強時間数が合格率に直結する試験ですので、早い時期から本格的に試験勉強に取り組めるかどうかの鍵を握っているといえます。



### —貧困に対する支援—

山田壮志郎先生

#### 1. 本科目について

本科目は、生活保護制度を中心とした貧困・低所得者対策の仕組みについて学ぶ科目で

す。私がもう一つ担当している「社会保障」に比べると、扱う制度がほぼ生活保護法だけですし、出題項目も概ね決まっているので取り組みやすい科目だと思います。

## 2. 出題傾向

### (1)生活保護法の原理・原則

本科目の出題ポイントとしてまず強調しておきたいのが生活保護法の基本原理（国家責任、無差別平等、最低生活保障、保護の補足性）と実施上の原則（申請保護、基準及び程度、必要即応、世帯単位）です。4つの原理と4つの原則は、生活保護法の1条～4条と7条

～10条に規定されています。ほぼ必ず出題されますし、法律の条文がそのまま出題されることもあるので、この8つの条文は丸暗記しても損はないと思います。

### (2)保護の実施体制・福祉事務所

生活保護の実施体制、つまり福祉事務所に関する問題もほぼ必ず出題されます。生活保護の申請窓口である福祉事務所に配置される職員（所長、査察指導員、現業員、事務員）や、そのうち社会福祉主事の任用資格が必要な職種、現業員が担当する被保護世帯の標準数などがよく出題されます。

### (3)生活保護の動向

生活保護に関するデータを使った問題もよく出題されます。被保護人員や被保護世帯数は増えているか減っているか、8種類の扶助の中でどの扶助が最も多いか、4つの世帯類型（高齢者世帯、傷病・障害者世帯、母子世帯、その他の世帯）ではどの世帯が多いかなどが「あるある問題」です。

### (4)事例問題

本科目では、事例問題も1～2問出題されます。要保護世帯や被保護世帯が登場してケースワーカーはどんな支援をするのが適切か問うのが典型的な問題です。ソーシャルワーク科目で学んだことを踏まえればそう難しくはないでしょう。

自立支援プログラムや就労支援が絡んだ事例問題もよく出題されます。被保護世帯の自立とは働いて経済的に自立することだと思っている人もいるかもしれませんが、それだけではありません。日常生活自立や社会生活自立も含めて幅広く自立を捉えられているかどうかを問う問題がよく出題されます。

おわりに

これまでの出題傾向は生活保護制度が中心で、7問中5問ぐらいは生活保護から出題されてきました。新カリでは出題数が6問になりますが、出題基準自体は大きく変わっていないように思います。ただし貧困の概念に関する理解が強調されているようにもみえますので、相対的貧困、剥奪、社会的排除などの概念は改めて学習したほうがいいかもしれません。

また近年は、生活困窮者自立支援制度やホームレス対策、生活福祉資金貸付制度といった生活保護以外の制度も出題数が多くなっている印象です。生活保護が引き続き中心ではあるものの、その他の制度についても過去問や参考書で基本事項をチェックしておくようにしましょう。

## －社会福祉調査－



# 「社会福祉調査の基礎」はこの分野が出る！

末盛 慶

とあるところのとある風景・・・

- A「先生、社士の勉強がなかなか進みません！」  
B「毎日ほんと暑いし大変だよな…。卒論もあるし。けど社士は4年間の学びの集大成の1つ。生活で役に立つこともあるし何よりきみたちが社会福祉について学んでいること自体が素晴らしいことで社会全体の幸せにつながっていくんだよ」  
A「社会福祉調査の基礎っていう科目、ちょっと取り組み始めたんですけど、さっぱりわかりません！」  
B「そうだよね。社会福祉調査の基礎は、「縦断調査」「サンプリング」「ダブルバーレル」「代表値」「観察法」「KJ法」とか日常で使わない用語が多いよね」  
A「じゃ先生、試験に出るところを教えてください！」  
B「まさにそこだ。社士対策では全部取り組む必要はないんだ。各科目の頻出分野をしっかりおさえることが何より大切なんだ。社会福祉調査の基礎の頻出テーマを以下みていこう。」



社会福祉調査の基礎は、①社会調査の倫理（個人情報保護等）、②調査デザイン（横断調査、縦断調査等）、③抽出方法（無作為抽出法、有意抽出法等）、④調査方法（郵送調査法、訪問調査法等）、⑤質問紙の作り方（ダブルバーレル、キャリーオーバー効果等）、⑥量的データの分析法（平均値、中央値、標準偏差、クロス集計、相関分析等）、⑦質的方法の調査法（観察法、インタビュー法、ドキュメント法、アクションリサーチ等）、⑧質的データの分析法（KJ法、グラウンデッドセオリーアプローチ等）が頻出テーマになる。上記の項目の過去問に取り組み解説を読んだり、テキストを読んだりするところから始めてみよう。地道に進めていくと徐々に「ここが出題されるのか」ということがつかめてくると思います。

勉強の進め方ですが、個人で進めてもいいですしグループで進めていくのも1つです。友達に「ちょっと一緒にやってみない？」とLINEとかで連絡してみましよう。友達と曜日と時間を決めて大学やzoomを使って一緒に勉強してみるのも1つです。開始時間や休憩時間を友だちと決めてやると思ったより勉強できます（休憩時間に好きなお菓子やアイスを食べてもOK☆）。お気に入りの環境の中、コツコツと楽しく勉強を進めていきましょう♪

